

# 平成30年度 横浜市世界を目指す若者応援事業

## (個人留学による帰国報告)

### ●氏名

HSさん

### ●留学先

国/都市：米国/テキサス州 スナイダー

外国の高校：Snyder High School

### ●留学期間

2018年7月22日～2019年6月9日

### ●留学先での活動、留学で学んだこと

#### ホームステイ先のファミリーから得たもの

父、母、大学生の兄、高校生の子、の4人家族にお世話になりました。

知識が豊富な父、教育熱心で愛情深い母、日本に興味がある兄、高校生活ではいつも僕をサポートしてくれた兄、彼らとの生活の中で、家族の役割や絆を感じる1年間でした。自室には籠らず、出来るだけ家族の輪の中にいるように、わからないことは何度も質問するように心がけることから始めました。

ゴミ出し、食器の後片付け、休日の食事の支度が担当制であったり、旅行や外食時のお金の使い方が計画的であったり、全て家族で共有されており、徐々に僕もその一員になっていきました。

帰国後、アメリカでの習慣を家族と相談し、僕や妹弟と実践していましたが、アメリカでの生活と決定的な違いとして、僕自身に時間が足りないことを実感しました。

通学時間、宿題の量、勉強時間の確保などが僕自身の課題となり、以前より一層、時間の使い方を考えるようになりました。

#### 滞在先の学校での活動

出来るだけ笑顔で、出来るだけ自分から話しかけることを心がけました。日本人が僕しかいない環境だったこともあり、偏見で見られることもありましたが、声をかけてもらう機会も多くありました。

挨拶だけの友人、自分の考えについて深く話し合うことのできる友人、様々な活動を通して多くの友人が得られました。

ジャズバンドでの活動、テニス部での活動、絵画コンクールへの参加、UIL (University Interscholastic League)の数学部門出場など、自分のできる範囲から積極的に参加していくことを心がけて過ごしてきました。

ジャズバンドでは、仲間との練習や、演奏会、その中でもクリスマスフェスティバルでの演奏が大きなイベントでした。

テニス部では、多くの大会に出場しUILでも準優勝など好成績を収めることができました。

絵画コンクールでは、校内の友人たちに励まされながら頑張りました。

UILの数学部門では、districtで校内一位になり、regional大会に出場しました。結果は散々となりましたが、とても貴重な経験でした。

### 留学体験の今後の活かし方

留学中は、様々な経験を通して、今まで自分になかった積極性や、人とのコミュニケーションが身につきました。

帰国後は、一年間のプランクを取り戻すため、教科の先生に積極的に質問し、復習に力を注いでいます。また、在籍中のテニス部の他に、英語のディベート部に入部し、英語ディベートの習得に励んでいます。

留学を通して、英語力はもちろんですが、家族の大切さや、自分の意思の大切さなど、色々なことを身につけ、大きく成長できたのではないかと思います。

その一方で、苦しい経験があったことも事実です。そのため自分のリアルな体験を、必要に応じて、周りに発信できればと思っています。

また、横浜市で行なっているアフリカ会議のボランティアにも興味があり、イベントやボランティアへの参加、お手伝いなど、積極的に関わって行きたいと思っています。

